

P17 北海道初上陸！セーザイゲームの開催報告

檜山森林管理署 長岡 愛加
更谷 侑亮

背景・目的

- ・資源量の増加に対して木材利用が進んでいない、林業従事者の担い手不足といった林業課題
- ・林業や国有林に親しみをもってもらうにはどうしたらよいか

↓
木材利用の重要性を知ってもらうために開発された
「**セーザイゲーム**」(開発者：三重大学、熊野林星会)なら
誰でも楽しく林業について学べるのではないかと



(渡島署・檜山署の有志でイベントを企画しました)

取組内容・成果

セーザイゲーム開発者を講師として招き木育イベントを開催しました。また、イベント来場者への配布物と展示スペースの設置により国有林PRを図りました。

【取組①】セーザイゲーム

競り

丸太の写真と直径の情報から丸太の品質を考え丸太を競り落とす。

木取り

競りで獲得した丸太に製品カードを配置する。配置できる枚数は丸太の直径にも左右され、フシのあるなしによって製品カードの価格も変動する。

換金

木取で配置できた製品カードをお金に換える。一番多く稼いだチームが優勝。



～参加者の感想～

「製材について学びながらパズルやかけひきでドキドキできてとても面白かったです！ちゃんと実際の製材に基づいているのがとても良い！」

「ただゲームをして終わりではなく、川上から川下までの話を組み込んでいたのが良かった」

(アンケート「林業・製材業に興味を持てましたか？」回答結果)

		とても興味を持った	少し興味を持った	あまり興味を持てなかった	林業関係者	未回答
全体	29	19	3	0	4	3
性別	男性	12	2	0	3	3
	女性	9	7	1	0	0
年代	20代	10	7	1	0	0
	30代	2	2	0	0	0
	40代	4	2	0	0	2
	50代	7	4	1	0	0
	60代以上	5	4	1	0	0
未回答	1	0	0	0	0	1

～イベントスタッフ反省～

・一般人や民間企業の方まで幅広く参加してもらうことができました。TVや新聞社に取り上げられたりXへの投稿もあったので、主催者側として公式SNS等で告知や交流ができればなお良かった。

・ゲームが盛り上がったことから座学にも集中する様子が伺えました。

・配布物にQRコードがついていたので局HPの認知度も上がると嬉しいです。告知チラシや展示物は親しみをもってもらえるように意識しました。

【取組②】国有林PR

トートバッグや北の森漫画冊子を配布
国有林作成「北の森カルタ」等木製品の展示
森林官制服の展示、森林官の仕事について
各地域の森林官紹介 若手職員紹介 等



今後の展開

地元の民間企業と協力して北海道Ver.のゲーム解説を作成

イベントの開催実現までに1年以上かかったので、今後は北海道内各地で森林教室プログラムとして取り入れやすいよう他署との情報共有を図り、林業に興味を持ってもらえる活動を続けたいです。

また、今回のイベントではゲーム開発地である三重県の樹種や製材業の実態を中心に解説を行ったので地元民間企業の協力を仰ぎ北海道の製材業界の話題を取り入れたゲーム解説作成を目指します。